

**右京区役所** ☎861-1101 (代表)  
〒616-8511 右京区太秦下刑部町12番地  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/ukyo/>  
**区役所ホームページ、Facebook**  
常時更新中！  
**インターネットテレビ「右京コミュニティ」も**  
**ぜひのぞいてみてね！**

右京区役所

検索

右京区役所 Facebook



4月14日(月)、右京区内大学生を対象として「自転車安全・安全利用教室」が開催され、20名を超える学生が参加し、自転車マナーについて学びました。

**京都いつでもコール**  
みなここ ぎょうはここ  
☎661-3755 FAX 661-5855  
お掛け間違いにご注意ください。  
Eメール (ホームページから)  
**京都いつでもコール** 検索  
申込み・問合せ ☎FAX、Eメールで。

■名称の意味  
「天神川通」の東で途切れている「仏光寺通」を延長し、「梅津」というオリジナリティを加えました。  
■「第1回みちフェスタ 梅津仏光寺通りだよ！全員集合！！」



式典におけるパレードの様子

自治会から、道路名がないことへの要望を受け、梅津まちづくり委員会、梅津学区自治会連合会、神田町自治会の3者が協働で取り組んだ結果、平成25年7月に道路の名称が決定。この取り組みについて、田淵前神田町自治会長にお話を伺いました。

自治会から、道路名がないことへの要望を受け、梅津まちづくり委員会、梅津学区自治会連合会、神田町自治会の3者が協働で取り組んだ結果、平成25年7月に道路の名称が決定。この取り組みについて、田淵前神田町自治会長にお話を伺いました。

**うれしいニュース**  
地域の思いが実り、通りの名称を「梅津仏光寺通り」に決定！(梅津学区)

2月27日、約180名の参加者が集い、右京区まちづくり区民会議が開催されました。  
前半の「来年度事業お披露目」では、区と関係団体で実施する事業や、「まちづくりキャンパス@右京」から生まれた事業など、12の事業が取組内容や今後の展開などを発表。鋭い意見や貴重な経験談が飛び交いました。



**右京区まちづくり区民会議「右京 東西南北大作戦！」盛大に開催**

後半の「右京 東西南北大作戦！」では、同じ地域の方々が集まり、地域課題についての解決策を話し合いました。白熱した議論が行われた結果、さまざまな解決策のアイデアが生まれました！  
今回の会議で生まれたアイデアは、「まちづくりキャンパス@右京」でさらに深く議論するとともに、右京区まちづくり支援制度などとも連携し、より良いまちの実現に向け、具体化へつなげていきます。

**エコまちステーションが行く！**  
減量しませんか  
お住まいの地域で古紙・古着、缶・びんなどの集団回収を始めてみませんか。  
市では、助成金を交付して回収に必要な経費の支援を行っています。自治会・管理組合・PTA・各種団体など、概ね20世帯以上の住民団体であれば申請していただけます。

登録できます。登録後も回収方法などを変更していただく必要はなく、今まで通りの回収で結構です。

すでに町内で古紙回収をしていますが、登録はできますか？

月一回程度活動していただければ、結構です。必ず、業者から回収伝票を受け取り、保管しておいてください。

回収量が少なくていいですか？

助成内容 チラシの作成や回収などに必要な費用の一部  
助成額 年間1万円～1万5千円(応募時期・回収品目により異なる)  
募集数 全市で300件  
☎ 366・0190  
☎ 366・1380  
右京エコまちステーション

京都市 コミュニティ回収制度 検索

**自治会・町内会ステキ化計画**  
第1回「自治会・町内会ステキびと全員集合！」  
参加費無料

自治会・町内会活動の充実に向けて、自治会・町内会長になられた方々を中心とした学びと交流のプログラムを開催します。右京区内のステキな先行事例や経験談にふれるとともに、同じ自治会・町内会活動に関わる方々の交流を通じて、よりよい活動に向けた具体的な工夫やヒントを見つけてみませんか(全3回開催予定)。

日時 6月25日(水)  
午後7時30分～9時  
場所 サンサ右京5階会議室  
内容 「自治会・町内会ステキ」冊子に掲載されている

みなさんのご参加、お待ちしております！

講師 谷口知弘氏 (同志社大学・客員教授)  
対象 本年度、右京区内で自治会・町内会の会長や役員をされている方  
定員 30名(先着順)  
申込方法 電話またはFAXで左記の問い合わせまで。  
※第2回7月、第3回10月開催予定  
☎ 861・1264、  
FAX 871・0501  
推進担当 まちづくり  
地域力推進室

**発見！自治会・町内会のステキ**  
地域活動でつながりづくり。安心・安全の住み良いまちを目指して安井学区

安井学区の大きな特徴は「自主防災会」の組織がしっかりと構築されていることです。学区一丸となって取り組まれる地域防災活動や町内会の活動について、河合安井学区自治連合会長にお話を伺いました。

■自主防災会の組織について教えてください。  
本部に、「情報部」「消防部」「救出救護部」「避難誘導部」「給食給水部」があり、各町内に「防災リーダー」「情報部長」「消防班長」「救出救護班長」「避難誘導班長」「給食給水班長」がいます。25町内を5つのブロックに分けており、毎年各ブロックから1つのモデル町内を選定しています。

■具体的にはどんな取り組みをしていますか。  
災害が起きたとき、それぞれが役割を果たして早期対応できるように、毎年7月頃に全体研修会と、各部の研修会を実施しています。また、自分の役割だけではなく、他の役割についても考えてもらえるように、各町内で「防災レポート」を提出してもらい、それを基に町内の表彰を行っています。

平成25年度からは、災害時の避難訓練だけでなく、避難所生活についても学んでもらうために、避難所体験訓練を行いました。災害時、大勢の住民が体育館の中で生活することがどれだけ大変なことなのかを、経験した方がよいと思ったからです。

例えば、「電気が使えない時は、発電機を使おう！」と

か、「避難誘導班は避難所での必要性が低くなるから、給食給水班や救護班を手伝おう」という発想など、机上ではなく実体験を通じて学区住民の皆さんに学んでもらいたいのです。今後も、知識が蓄積されるように継続して取り組んでいきたいです。

■西御所町について教えてください。  
私の住んでいる西御所町は、小さな町内だからこそその団結力、仲の良さがありません。懇親会も兼ねて実施される地蔵盆には、町内の皆さんが参加してくれるので、交流を深める良い機会となっています。運動会で一丸となって応援することも結束が高まるきっかけになりますね。

毎年バレンタインデーにチョコレートをくれる子どももいてくれて、とっても可愛らしくて嬉しいですね。

■最後に一言！  
地域防災の取り組みで大切なことは、地域の一人一人が災害発生時に、「何をしないといけないのか」「何ができるのか」を考え、行動を起こしていくことだと思います。地域の取り組みをとおして、顔見知りが増えるのと、どんな人が住んでいるのかが分かるんですね。防災の取り組みや学区住民、町内会が一体となる取り組みは、自然と学区全体の団結力を高めていると思います。

これからも、安心して住み続けられる安井学区を守ってきたいです。

安井学区・河合捷治自治連合会長